

## 【研究主題】 養護教諭の実践力向上を目指した、現場起点の学びの工夫

～「明日からの実践」につながる知見を共有・深化させる研究～

### I 実践の概要

これからの日本を見据えると、子供たちの課題はますます複雑化し、養護教諭への期待は高まることが予測される。ICT活用によって事務負担が軽減される今だからこそ、**私たちはそのリソースを子供たちとの直接的な関わりへと回帰させるべきである**。すなわち、保健学習や救急処置、心のケア、特別支援、関係機関との連携といった、人ならではの温かみと判断を要する領域における、確かな実践力が求められている。

令和7年度に発足した本研究会は、そのための実践力を向上させることを目指している。本研究会の研修は、「東京都養護教諭の資質向上に関する指標」をもとに、会員へのアンケートを通して不足しているスキルや知識を確認し、それを補う形で計画的に設計されている。また、養護教諭向け研修会の少ない西東京市部での開催を中心とし、若手や子育て世代の養護教諭も会員になりやすく、参加しやすい環境を整えるべく、研究会運営の働き方改革も積極的に行っている。将来的には、**東京都養護教諭の2・3年次研修を補完する役割を担う**ことも目標としている。

本実践は、このような理念のもと開催された年間を通じた多岐にわたる研修（救急処置、保健室経営、保健学習、ICT活用）活動を通して得た知見を統合し、自校の教育活動に還元する試みである。

### II 実践の目的

学習指導要領や教育施策大綱で求められる「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点を学校保健活動に取り入れ、保健室を単なる「ケアの場」から、**子供が自らの健康を守る力を育む「学びを生む場」へと転換する**。

ICTツール（C a n v a 等）を効果的に活用し、児童生徒の興味関心を高める教材開発や、保護者への発信力強化を図る。時代の要請に応える養護教諭としての専門性（救急対応能力、カウンセリングマインド、授業技術、コーディネート力等）を高め、全教職員と連携した組織的な健康教育体制を構築する。

### III 実践の方法・内容

(1) 研修会における学び（指標に基づく多角的なスキルの習得）

本年度は、「東京都養護教諭の資質向上に関する指標」や会員アンケートに基づき設計された以下の研修会を通じて、養護教諭に必要な専門的知識と技能を多角的に習得した。

第1回研修会（7/1）： 救急救命士の資格を持つ木村純一先生（主任養護教諭）より、**災害トリアージの具体的な手法**や、正確なバイタ

ルサインの測定方法を学んだ。これにより、平時や緊急時における、対面での的確な状況判断能力の向上を図った。

第2回研修会（12/12）：講師の宮崎亜希絵先生（元指導主事・現副校長）より、保健室における「個別最適な学び」と「協働的な学び」について学ぶ。保健室で見える子供の心と体のサインを個別支援の手がかりと捉え、さらに担任や管理職と連携し、子供自身が課題を解決する力を高めるための理論的基盤を構築する予定である。

第3回研修会（12/26）：講師の阿部大樹先生（主任養護教諭）より、デザインツール「Canva」の操作と活用法を学ぶ。直感的に操作できるICTツールを用いることで、事務作業の効率化を図るとともに、視覚的に分かりやすい「教育」のための資料作成スキルを習得する予定である。

第4回研修会（2/17）：講師の小泉友先生（指導教諭）による保健の公開授業を参観する。普段、授業を行う経験が少ない養護教諭にとって、指導教諭の熟練した教育技術や授業展開を直接学ぶ貴重な機会となり、自身の保健教育や「授業」の実践に活かす視点を獲得する予定である。

（2）自校における実践展開

第1回で学んだ災害トリアージやバイタルサイン測定の知識を活かし、緊急時対応計画や教職員へのOJTへの還元を検討した。今後の研修では授業技術や情報活用能力を高めて保健教育で実践しつつ、対話やアセスメント等の保健室での日々の実践へつなげていく予定である。

IV 実践の成果と今後の課題

【成果】

保健室の「ケアの場」から「学びを生む場」への転換を目指し、救急対応能力やアセスメントなど総合的な実践力を高めた。また、多様な養護教諭が交流できる研究会運営は、課題共有や実践推進の大きな支えとなっている。

【今後の課題】

習得した手法の実践を重ね、定着を図る。さらに成果を校内へ還元し、学校全体の組織的な健康教育へと発展させる。



＜令和7年度連絡先＞

団体名		東京都学校保健実践研究会	
代表者	所属	立川市立第七小学校	
	職氏名	校長 島村 雄次郎	
	連絡先	042-523-5348	
事務局	所属	立川市立第八小学校	
	職氏名	主任養護教諭 早川 有希	
	連絡先	042-536-0031	
団体ホームページ	URL	<a href="https://schoolhoken-jisse.n.my.canva.site/">https://schoolhoken-jisse.n.my.canva.site/</a>	二次元コード